

花園院宸記

宮内庁書陵部編
全三十五巻

刊行の意義と特色

※歴史的の古文書を原本そのままの姿で学界などに提供することにより、学問の進歩、並びに原本の保存に寄与する

※本宸記は伏見宮に伝来し、延慶三年花園天皇十四歳の時より、元弘二年、三十六歳の時に至る二十三年間の天皇自筆日記の原本である

※鎌倉時代の代表的歴史資料であり、貴重な文化財でもある

※傑出した能筆家であり、その巧まざる達筆をもって、自在に書記された宸記は他に類を見ない書道史上の優品である

※宮内庁書陵部の研究者による釈文及び書誌的事項を中心とした解説を別冊として各巻に付した

※全三十五巻を原寸でダイレクトに撮影し、原本に忠実な完全複製に努めた

※コロタイプ印刷で、原本に近い色調を再現、裏書についても裏打ちを考慮して再現に努めた

※卷子仕立・桐箱及び艶箱入、表紙＝重目古代絁（古代紫）、用紙＝越前特漉鳥の子三号紙

**全24回
全35巻
待望の完結!!**

全35巻 揃定価:本体 8,525,486円 (税別)

本体価格(税別)

| | | |
|---------------------|--|----------------|
| 第1回配本 全3巻 339,806円 | 第1巻延慶3年10月～12月 第2巻延慶4年正月～6月 第3巻延慶4年11月～12月 | (紙背は文保3年2月具注暦) |
| 第2回配本 全2巻 291,262円 | 第4巻応長2年正月～3月 第5巻応長2年6月・8月～12月 | |
| 第3回配本 全1巻 339,806円 | 第6巻正和2年正月～6月 | (正和2年具注暦) |
| 第4回配本 全1巻 339,806円 | 第7巻正和2年7月～12月 | (正和2年具注暦) |
| 第5回配本 全1巻 339,806円 | 第8巻正和3年正月～6月 | (正和3年具注暦) |
| 第6回配本 全2巻 300,000円 | 第9巻正和6年正月～3月 第11巻文保2年正月 別記 | (正和6年具注暦) |
| 第7回配本 全1巻 300,000円 | 第10巻文保元年4月～6月 | (正和6年具注暦) |
| 第8回配本 全2巻 370,000円 | 第12巻元應元年正月～4月 第13巻元應元年5月～6月 | |
| 第9回配本 全3巻 270,000円 | 第14巻元應元年7月～8月 第15巻元應元年9月～10月 第16巻元應元年10月～12月 | |
| 第10回配本 全2巻 380,000円 | 第17巻元應2年正月～6月 第19巻元應2年9月 別記 | (元應2年具注暦) |
| 第11回配本 全1巻 360,000円 | 第18巻元應2年7月～12月 | (元應2年具注暦) |
| 第12回配本 全1巻 375,000円 | 第20巻元應3年正月～6月 | (元應3年具注暦) |
| 第13回配本 全1巻 350,000円 | 第21巻元亨元年7月～12月 | |
| 第14回配本 全1巻 380,000円 | 第22巻元亨2年正月～6月 | |
| 第15回配本 全1巻 380,000円 | 第23巻元亨2年7月～12月 | |
| 第16回配本 全1巻 380,000円 | 第25巻元亨3年4月～9月 | (紙背は元亨3年具注暦) |
| 第17回配本 全2巻 380,000円 | 第24巻元亨3年3月 第26巻元亨3年9月～12月 | (紙背「史記抄録」あり) |
| 第18回配本 全1巻 380,000円 | 第28巻元亨4年4月～12月 | (元亨4年具注暦) |
| 第19回配本 全1巻 360,000円 | 第27巻元亨4年正月～3月 | |
| 第20回配本 全1巻 380,000円 | 第29巻正中2年正月～6月 | (正中2年具注暦) |
| 第21回配本 全1巻 380,000円 | 第30巻正中2年7月～12月 | (正中2年具注暦) |
| 第22回配本 全2巻 380,000円 | 第31巻元徳元年11月～12月 第33巻元弘元年(元徳3年)10月 | |
| 第23回配本 全1巻 380,000円 | 第34巻元弘2年正月～6月 | (元弘2年具注暦) |
| 第24回配本 全2巻 390,000円 | 第32巻元弘元年(元徳3年)10月～12月 第35巻元弘2年10月～11月 別記 | (元徳3年具注暦) |

発行:思文閣出版

〒605-0089京都市東山区元町355 tel075-533-6860 fax075-531-0009
http://www.shibunkaku.co.jp/ e-mail:pub@shibunkaku.co.jp